

作成日 2022年 3月22日
最終更新日 2025年1月15日

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 4920

課題名 : 痛風・高尿酸血症及び尿酸関連疾患の病態解明に関する研究

1. 研究の対象

平成23年(2011年)9月以降、(学校長承認日)までに当院または本研究の共同研究機関で痛風・高尿酸血症・尿酸関連疾患(高尿酸尿症、低尿酸血症、尿酸との関連が示唆される疾患)の診断または治療を受けられた方、またはそのご家族及び対照者(それらの疾患のない比較対象者)を対象とします。

2. 研究期間

平成23年(2011年)9月～令和13年(2031年)3月31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2025年4月1日

提供開始予定日 : 2025年4月1日

4. 研究目的

痛風は高尿酸血症(血液中の尿酸値の高い状態)に引き続いて引き起こる生活習慣病の1つで、激痛を伴う関節痛や、尿路結石を引き起こすのみならず、高血圧、腎臓病、虚血性心疾患、脳卒中などのリスク因子となることが知られています。痛風、高尿酸血症ともに、環境要因のほか遺伝要因の関与が強いことが分かっていますが、その全容はいまだ明らかではありません。そこで、本研究では、痛風と高尿酸血症や尿酸関連疾患の遺伝要因を明らかにして、その病気の仕組みを明らかにすることを目的として実施します。これにより、個人の疾患リスクの判定や、効果的な新しい予防法や治療法の開発に結びつくことが期待できます。

5. 研究方法

血液などの検体に含まれるDNAやRNAという物質を取り出し、遺伝子の構造を解析します。調べる対象は、現在明らかになっている痛風の主要な病因遺伝子を含め、関係する可能性のある数多くの遺伝子です。

近年、技術革新が進んだことにより、ゲノム全域の多様性について病気との関わりを調べることができるようになりました。ゲノム全域の多様性の解析(「ゲノムワイド関連解析」という手法による解析)については、共同研究機関である久留米大学、国立遺伝学研究所等で主に解析され、共同研究として実施します。

他の遺伝子解析の多くは防衛医科大学校で実施され、検体も責任を持って保管されます。

将来、検体を医学研究に用いる場合には、改めて研究計画書を提出し、倫理委員会の承認を受けます。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

試料 : 血液、尿、便 等

情報 : 病歴、治療歴、アンケート結果 等

7. 外部への試料・情報の提供

NBDC ヒトデータセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究責任者が保管・管理します。

また試料・情報の一部は、共同研究のため、個人が特定できないよう氏名等を削除し、記録媒体あるいは郵送、電子的配信等によりアメリカ合衆国内の研究機関（アラバマ大学、米国軍保健科学大学）にも提供されます。対応表（復元情報）は、研究責任者が保管・管理します。

アメリカ合衆国における個人情報保護に関する制度については個人情報保護委員会のWEB ページをご覧ください。

(URL : <https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/kaiseihogohou/#gaikoku>)

また、提供先の研究機関においては、OECD プライバシーガイドラインを全て遵守してあなたのデータを取り扱うことを確認しています。

8. 研究組織

研究責任者 防衛医科大学校 分子生体制御学講座・教授・松尾洋孝

（分担研究者等を含む詳細な情報は防衛医科大学校分子生体制御学講座公式ホームページ (<http://ndmc-ipb.browse.jp/Collaborative-Research.html>) をご参照ください）[倫理承認後修正予定]

9. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費：講座研究費、防衛医学先端研究費、防衛医学基盤研究費、競争的研究資金（科学研究費助成事業、厚生労働科学研究費）、防衛医学振興会

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて対象者もしくは対象者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象者さんに不利益が生じることはありません。ご了承いただけない場合、得られた試料・情報は全て破棄します。ただし、ご了承いただけない旨の意思表示があった時点で既に研究成果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあります。研究への利用を拒否することを決められた場合、下記の連絡先までお申出ください。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校分子生体制御学講座 松尾 洋孝

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

連絡先：04-2995-1211（内線 2288）

hmatsuo@ndmc.ac.jp

当院の研究責任者：同上

研究代表者：同上